

巻頭言

山のトイレを考える会 代表 小枝正人

北海道の山を愛する皆さま この1年、いかがお過ごしでしたか。

令和6年度（2024年度）の「山のトイレを考える会」は、皆さまのご支援に支えられて、この1年も元気に活動をやり遂げることが出来ました。本当にありがとうございました。嬉しいご報告があります。

当会の活動が、優れた自然保護活動・生物多様性保全活動として評価されて、公益財団法人日本自然保護協会より「日本自然保護大賞2024・選考委員特別賞」を受賞しました。受賞テーマは「大雪山国立公園の山岳トイレ問題解決に向けた取り組み」です。トイレ問題について「考える」活動だけでなく、現地での実践活動、啓発活動を地道に、しかし着実に、長年取り組んできました。北海道に拠点を置いた官民協働活動が高く評価されたのです。



日本自然保護大賞2024・選考委員特別賞 受賞セレモニー 2025年1月19日

来し方を振り返りますと、2000年6月に当会が発足した当時の大きな3つの課題に改善の成果が現れています。美瑛富士は、美瑛富士トイレ管理連絡会（道内の山岳団体団体で構成）・美瑛町・環境省による美瑛富士避難小屋携帯トイレブースの設置・維持・点検パトロール活動を継続出来ています。トムラウシ南沼野営指定地は、多くの関係者の継続した活動の結果、トイレ紙・汚物は消え、トイレ道の植生が回復してきました。旭岳・裏旭野営指定地には、近い将来、携帯トイレブース設置が期待できるところまで大雪山国立公園山岳トイレ等検討作業部会で協議が進んでいます。

これからも山を守る～山岳環境の改善を目指して、継続へ！一緒に！
結びはいつもの次の言葉です。

～山岳環境問題改善の活動は官民協働の仕組み構築こそが未来への道である～